



千葉商科大学同窓会

千葉商科大学同窓会ニューズレターは同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であります。「きずな」本誌は年会費納入者に年3回、お届けし、大学の最新情報、同窓会の活動状況を皆様にお伝えしております。母校愛が蘇ってまいります。

年会費に関する問い合わせは、同窓会事務室で承っております。

☆ご意見、ご要望を

お聞かせください☆

[TEL]

047-371-2665

[FAX]

047-371-2665

[E-mail]

salon@all-cuc.org

同窓会ニューズレターや「きずな」の紹介記事、イベント、連絡事項は同窓会Webサイトに掲載されています。

[同窓会ホームページ]

<http://www.all-cuc.org/>

[発行者]

千葉商科大学同窓会
広報・IT委員会

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1



「三浦英之同窓会会長」のご逝去を悼む

誠に残念なお知らせです。かねてより療養中でありました三浦英之同窓会会長が去る7月11日午前7時54分にお亡くなりになりました。享年67歳でした。

三浦会長におかれましては、同窓会活動の現状認識の下、組織の強化、とりわけ未結成支部の組成と大学と協働できる分野に力点を置き、実践的・行動的に取り組まれておりました。言わば、志半ばにして逝かれたことは痛恨の極みであったことと推察いたします。同窓会の在るべき姿を確立すべく今日、時代環境に適応した実効性ある組織活動の観点からも今後の糧としたいと思っております。ご生前のご遺徳を偲び心からご冥福をお祈り申し上げます。

千葉商科大学同窓会会長代行 加瀬 正裕

加瀬正裕同窓会会長代行ご挨拶



同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版をお届け申し上げます。「きずな」は平成21年11月の創刊号以来、そつなく歩み、充実度を深め活動の全般的報告と共に大学の持つ教育力の一旦を示すところにより、意図した情報誌の在り方が推進されてきたところです。10月には節目の第10号の発刊を迎えます。

定着した本誌の歩みと共に、同窓会活動への参加について今後広く理解を求めていくことが大切な要件です。同窓会は卒業生の思いある温もりを寄せ合うところであり、その根底には善意が息づいているものであります。その延長線上に、信頼され得る母校の発展を願い寄り添う心情と心意気があるものと考えます。こうし

た認識の下に多くの卒業生が寄り合える組織を作り上げていくことが肝心です。

寄り合える、そして寄り合う同窓会を実現するためにも、第43期同窓会には多くの皆さんに出席していただきたいと思っております。来る11月4日の開催です。また、同時開催の第4回ホームカミングデーはオープニングセレモニーを通じて歓迎の意が表されます。卒業生の皆さん、是非寄り合うことから始め、そして母校を見つめてみませんか。今それが必要とされる時代なのです。

寄り合える、寄り合う同窓会の実現へ

～母校を見つめてみませんか？～



千葉商科大学 第4回ホームカミングデー

メインデー 2012年11月4日(日)開催

瑞穂祭開催期間中<11月2日～4日>はホームカミングデー

11月4日の予定(概要)

<オープニング> 10:00～

島田晴雄学長のウェルカムスピーチ

◇千葉商科大学吹奏楽部による演奏

◇応援団OBIによるリーダー公開

◇glitter'sによるチアリーダーディン

<展示>

思い出の品々「懐かしき思い出工房」(本館3階)

<第43期定期総会> 12:30～(7号館702教室)

講演 島田晴雄学長 12:30～13:00

「日本経済の展望と千葉商科大学の改革」

総会 13:00～14:15

懇親会 14:30～16:00(本館7階)

飯塚雅幸氏(昭47経済卒・秋田県支部)による

サクソフォン演奏

<卒業生による出店(瑞穂会協力)>

☆「まごころ一級屋」大野誠治氏

☆「エハラピーナッツ(株)」による

ピーナッツ製品の販売(加瀬正裕氏推奨)

同窓会本部からの報告

◇同窓会ネットワーク作り進捗状況

<新支部設立>	香川県支部（平成23年11月12日創立）	支部長	田中一秀（昭48経済卒）			
<昭和40年代同期会結成>	41会 平成22年8月	会長	大川 邦和	45会 平成22年12月	会長	植村 伍廣
	46会 平成22年9月	会長	樺田 均	47会 平成24年6月	会長	池野辺 修
	48会 平成23年3月	会長	遊馬 正幸	49会 平成22年11月	会長	鈴木 隆夫

既結成の40、42、43、44会に加え、昭和40年代はすべて揃いました。今後の発展を祈念申し上げます。（組織プロジェクト委員会）

◇新任支部長

第42期において前支部長の任期満了に伴い新支部長が就任しました。

山梨県支部	酒井 哲（昭46商卒）	茨城県支部	牧野 靖信（昭39経済卒）	千葉県支部	石津 佳明（昭39年経済卒）
高知県支部	東崎 誠志（昭44経営卒）				（支部長会）

◇第3回同窓会交流会

「知り合うことから信頼が始まる、信頼から絆が生まれる」のキャッチフレーズの下、9月9日（日）に関東近隣の同窓生を対象に第3回同窓会交流会を開催しました。両国駅から国技館、東京スカイツリーが一望できる旧安田庭園、復興記念館、割烹「魚河岸」まで2キロの散策後、グラスを傾け、料理を味わい交流を深めました。前日に支部長会が開かれ、都合のつく支部長の参加もあり、50名を超える盛況な会になりました。（事業委員会）

◇維持会費納入のお願い

同窓会は維持会費（年会費）によって運営されております。納入いただいた方々を対象に、「きずな」本誌を年3回お送りしております。同窓会の充実・発展のため、今後とも維持会費（年会費）の納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。（財務委員会）

◇編集後記

一部の情報の伝達にとどまっておりますので、本誌「きずな」も是非ご覧いただきたく存じます。11月4日、母校での定期総会には万障お繰り合わせの上、お越してください。お待ちしております。（広報・IT委員会）

事業計画（案）

第43期 事業計画（案）

自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日

- 同窓会活動の活性化
 - 組織の改革と強化
 - 同窓会名簿の整備と活用
 - 本部・支部の連携強化と支部活動の積極的推進
 - 支部未結成県への結成促進
 - 支部長会への支援
 - 支部による会員の掘り起こし
 - 同期会結成の積極的推進
 - 団体活動支援（同期会運営）
 - 広報活動の充実
 - 職業別ネットワーク作り
- 母校サポート体制の強化
 - 熱血講座、その他講座への講師派遣
 - アライアンス企業紹介の推進
- 財政基盤の強化
 - 同窓会「維持会費」の徴収促進
 - 終身会費及び華甲会費の徴収促進
- ホームカミングデーの実施
- 同窓会功労者に対する感謝状の贈呈
- 同窓会専従職員の雇用充実
- 学生会員に対する事業の推進
 - 学生助成金の贈呈
- 同窓会発展のための諸事業
 - 同好会活動の推進
 - 瑞穂会ゴルフコンペ
 - 同窓会会員の親睦と情報交換
 - 講演会の開催⇒総会時での学長講演
- その他

収支計算書（決算見込書）

第42期 収支計算書

（決算見込書）

自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日

（単位：千円）

入会金収入	15,360
華甲会費収入	330
維持会費収入	5,646
寄付金収入	625
広告料収入	600
受取利息収入	619
前年度繰越金	10,547
収入の部合計	33,727
定期総会等会議費	740
講演会費	56
人件費	1,644
印刷費	3,173
通信費	4,444
消耗品費	133
賃借料	18
旅費交通費	1,720
支部助成費等	2,510
団体活動助成費	310
同期会結成助成費	110
委託費	594
学生援助費	3,000
学生会員助成費	631
雑費	413
備品購入費	426
同窓会基金への繰入支出	2,000
奨学基金への繰入支出	600
予備費	0
次年度繰越金	11,205
支出の部合計	33,727